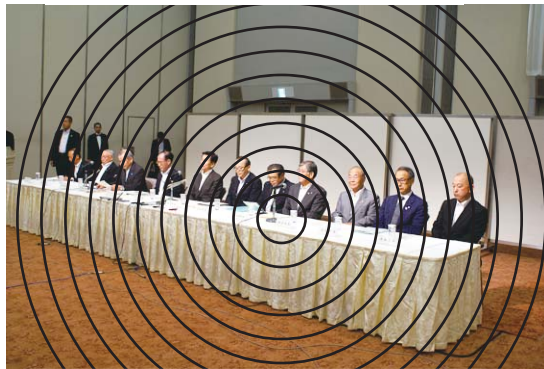


## 強化案承認で騒音地獄を拡大

# 4者協開催阻止へ



空港機能強化案の論議を承認した2015年9月17日の4者協議会

12月2日、13回の拡大説明会を終えた横芝光町の佐藤晴彦町長は、記者会見で、「この案では町民の理解を得られない」「この案は受け入れられない」との態度を表明しました。にもかかわらず、国土交通省・NAAなどは、「成田空港問題に関する4者協議会」を開催して、「空港機能強化案」の承認を強行する構えです。「1月末開催」との情報も流されました。

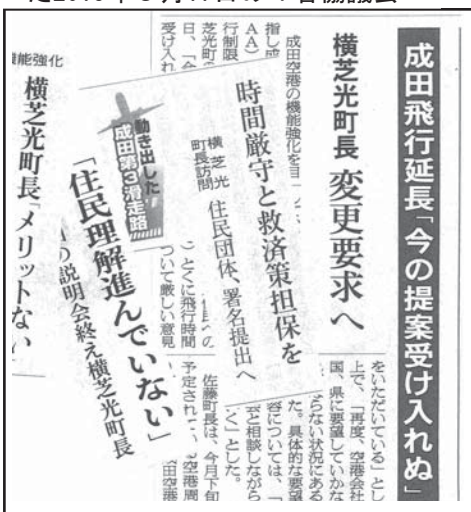
横芝光町  
佐藤町長

「今の提案受け入れぬ」

## 怒りの声を行動へ

断じて許せません。同協議会は、開催の日時も場所も知らせない、傍聴はゼロ、マスコミも入れないという、信じられないほどの秘密主義です。こんなところで、騒音下住民の“運命”を決める決定が一貫して行われてきたのです。でたらめな会議の開催を認めることはできません。今こそ、空港騒音への怒りの声を行動へ移し、機能強化案の白紙撤回を実現しようではありませんか。(2面に解説)

横芝光町での空港機能強化案への反発を報じる新聞(12月3日、8日、9日)



## 1・8新年旗開き(新年会)へ

- 日時：1月8日(月＝休日) 午後1時
- レストラン「ハナマサ」  
成田市並木町字大久保台219-304 TEL：0476-23-2328
- 新年デモ＝午前10時30分 成田市東峰

# 4者協議会、空港圏自治体協の正体を暴露する

「空港機能強化案」の白紙撤回をかちとる運動は、空港圏自治体協議会、「4者協議会」との攻防に入り

ました。ここでは、過去数々の大罪を犯してきた4者協、自治体協の悪行を暴露し断罪します。

## 滑走路拡張、発着枠拡大の全て追認

●2001年5月発足 「4者協議会」の正式名称は「成田空港問題に関する4者協議会」と言い、国土交通省、NAA、千葉県、地元9市町（空港圏自治体協議会）からなります。4者協は2001年5月、千葉県収用委員会の再建を策動していた堂本暁子知事（当時）の提唱で始まり、今年6月の開催で17回目になります。

●発着枠拡大の全てを追認 同協議会は、国交省、NAAが提案する成田空港機能強化策のすべてを追認してきました。2001年当時発着枠が20万回だったのを22万回に増加させる承認をしたのを皮切りに、25万、27万、30万回と騒音地獄を拡大する先兵となってきました。そして2013年の「弾力的運用承認」です。さらに、B滑走路の北延伸や第3誘導路の建設なども4者協のお墨付きで強行されているのです。これらの悪行の上に50万回飛行をはじめとする機能強化案を承認しようとしています。すべての住民の力で阻止しましょう。



09年12月の自治体協では、相川町長の提案で、「深夜・早朝便の延長」を要求

### 自治体協も悪質、中でも相川芝山町長が大罪

空港圏自治体協議会の果たしてきた役割も悪質です。中でも2009年12月15日の協議会が際立っています。上の新聞記事を見てください。何と「深夜・早朝便の延長」を自治体協の方から要求していたのです。自ら騒音地獄の拡大を提案していたのです。これほどの住民への裏切りがあるのでしょうか。



●住民を裏切る首長たち これらを提案したのが相川町長（写真）です。町長は、「現空港敷地内に第3滑走路を造るスペースがある」と09年の時点で新滑走路の提案までしていました。今回の町長選で多くの批判票が投じられたことは当然です。4者協、自治体協を串刺しにして、強化案を白紙撤回させることは可能です。がんばりましょう。

NAAの提案を受けて「30万回」を承認した4者協議会（09年12月25日）



「命より利権」を優先する腐敗の歴史



# 同意書は偽造 NAAは卑劣



千葉市の目抜き通りをデモ（11月20日）

11・20

## 強制執行許さない！ 耕作権裁判闘う

11月20日、千葉地方裁判所で、市東さんの農地をめぐるもう一つの裁判である耕作権裁判の弁論が開かれました（他は請求異議裁判）。反対同盟を先頭に支援の労働者・学生・市民70人が千葉市中央公園から裁判所に向けた目抜き通りをデモ行進、道行く市民の注目を浴びました。

午前10時30分に開廷。11年にもなるこの耕作権裁判で、市東さん側は、NAAの私文書偽造という犯罪を追及してきました。私文書偽造とは、NAAが、孝雄さんの父・東市さんの署名がある「同意書」「境界確認書」を偽造していたことを言います。市東さん側は、専門家による3つの筆跡鑑定書で偽造をあげてきました。そして今回、新たな鑑定書で、署名のみならず印鑑まで偽造していたことを突き出したのです。印鑑を押した跡を「印影」といいますが、「印影鑑定書」をもって、ハン

コまで偽造していたことを明らかにしました。

### 騒音拡大の暴挙と同じ人権侵害

さらに弁護団は、71年に大木よねさんの土地と家屋を強制収用したことの犯罪性を突き出し、市東さんに同じことを行うことは絶対に許されないことを指摘しました。「農民として生き抜きたい」という市東さんの願いを踏みにじるNAAの姿は、「ここに住み続けたい」という騒音下住民の願いを踏みにじる「空港機能強化」の暴挙と重なります。市東さんの裁判に注目して下さい。

### 北原事務局長を偲ぶ会

12月10日、成田市内で、故北原鉦治事務局長ゆかりの80人が出席して「偲ぶ会」を行いました。50年もの三里塚闘争を導いた故人の偉業をみんなで偲びました。



基地から至近距離にある小学校（黒わく）。米軍は真上を飛行させていた

## 相次ぐ落下物事故弾効

### 沖縄普天間基地の軍用ヘリから

12月7日の緑ヶ丘保育園への落下物事故に続いて、13日、今度は普天間第2小学校の校庭に何と、軍用ヘリCH53の窓枠が落下しました。重さ約8キロ。わずか10分前で、児童が体育の授業をしていました。「小学校の上は飛ばさない」という住民との合意を踏みにじて命を危険にさらす暴挙です。朝鮮半島の核戦争の危機が、このような連続事故の背景にあります。アメリカは直ちに普天間基地を撤去せよ。

## 地域住民の声

今回は、横芝光町の住民から声をいただきました。横芝光町では「他の場所から引っ越してきたのにこんなに騒音がひどくなるとは」と「空港機能強化案」に反対する住民が多くいます。怒りの声はまず拡大しています。

### ◆東京から引っ越してきたのに滅茶苦茶 横芝光町 主婦

20年前に、土地は安いし、自然は豊かだし、ということで東京から引っ越してきた。飛行機は飛んでいたけど、まだB滑走路はできていず、この土地に満足していた。だけど2002年にB滑走路ができると、どんどんどんどん便数が増え、A滑走路の方もうるさくなって、困っている。夜の寝入りばなになると頭の上を飛ぶんだよね。この上、50万回に拡大？ 冗談じゃない。自治会に入って

いないので回覧板も回ってこず、説明会にも行きはぐれてしまった。今度の機能強化案に反対して、やめさせるにはどうしたらいいのだろうか。方法があったら教えてほしい。

### ◆「声をあげることが大切だ」と実感

#### 横芝光町 公務員（男性）

横芝では「空港機能強化案」に対して、想像以上に反対の声が広がっている。自分も説明会に出席して、反対の意見を述べた。現在でも本当にうるさいのに、これ以上の騒音なんてがまんできない、住んでいられなくなるというのが、部落のみんなの気持ち。にもかかわらず移転地区には入っていない。だけど、それぞれの説明会でみんなが声をあげることで、状況は変わってきたと思う。町長も「住民の納得は得られていない」と記者会見で言っていた。あるマンション建設で困っている知人がいて、「自分たちが知った時には全部決まっちゃっているのよね」と嘆いていたので「運動って、そこから始まるんじゃないの」と偉そうに答えた。だけどそれが実感だよ。

## 8回目の天神峰カフェを開催

### 2017年の闘いの成果を語り合う



8回開いた天神峰カフェの成果を語り合う。(11月26日)

11月26日、8回目の天神峰カフェを市東孝雄さん宅離れで行いました。「市東さんの農地取り上げに反対する会」の小川正治さんや千葉市の市民、現地で活動する仲間が集まり、23日に「反対する会」が行った「憲法と農業—農民の人権は守られているか」と題するシンポジウムの感想を語り合い「2017年もあと1カ月。やりきって18年を迎えよう」と意気投合しました。次回は1月下旬です。気軽にご参加下さい。